

## 『経営に役立つヒント』

令和五年一月一日

第二百三十六号

新年明けましておめでとうございます。

昨年、2月にロシアのプーチンが時代を百年逆行するウクライナへ軍事侵略し、10月には中共の習近平が慣例を破り三期目の総書記続投を果たしました。

国内では、戦後最高との世界的評価の高い安倍元総理が白昼に凶弾に倒れ、統一教会事件で、盤石のはずの創価学会・公明党に激震が走りました。

第二次世界大戦後、我が国にこれほどの大きな影響を及ぼす大事件が多発した年はありません。

国防について、憲法改正について、まともに議論し防衛費をGDPの2%にすることが閣議決定され、反撃能力を6割の世論が支持するという画期的な年でもありました。平和ボケした日本人も、ここにきてようやく目覚めたようです。ロシアや中共あるいは北朝鮮という外圧で、日本も「普通の国」になるきっかけを貰ったことは皮肉なものだと思います。

更に、忘れた頃やって来る、南海トラフ大地震や、首都直下型大地震への備えも忘れてはなりません。

「国防」や「国土強靱化」に、予算や税収増の困難さを盾に、国益より省益を優先する財務省は解体する必要があります。残念ながら、財務省には頭脳が良いが、いざという時に求められる肚のある人財はいません。大東亜戦争を止めるべき時期を逃し、惨敗に持ち込んだ軍部の学力秀才と同じ轍を踏んでいるのです。

幸い日本は、悠久の歴史があり、神代から続く皇室を戴く国でもあります。

何度試練を受けても、その都度雄々しく立ち上がる国民がいます。

民のレベルが世界一優秀なのです。

今も、大和魂や武士道が脈々と伏流水のように流れている民族なのです。

中小企業の我々経営者は、今こそ、日本の為に立ち上がり、それぞれの地域で、それぞれの業務に邁進していく秋です。一隅を照らして参りましょう。

人が財産です。人がすべてです。素晴らしい人がいるからこそ、日本の未来は輝かしいのです。

令和5年は大変化の年です。大変化は大チャンスのある年でもあります。

社長、共に変化に対応していける体力・気力・財力・人間力で、この1年を突き抜けて参りましょう。

今月のポイント

今年

は歴史的变化の年!!

